

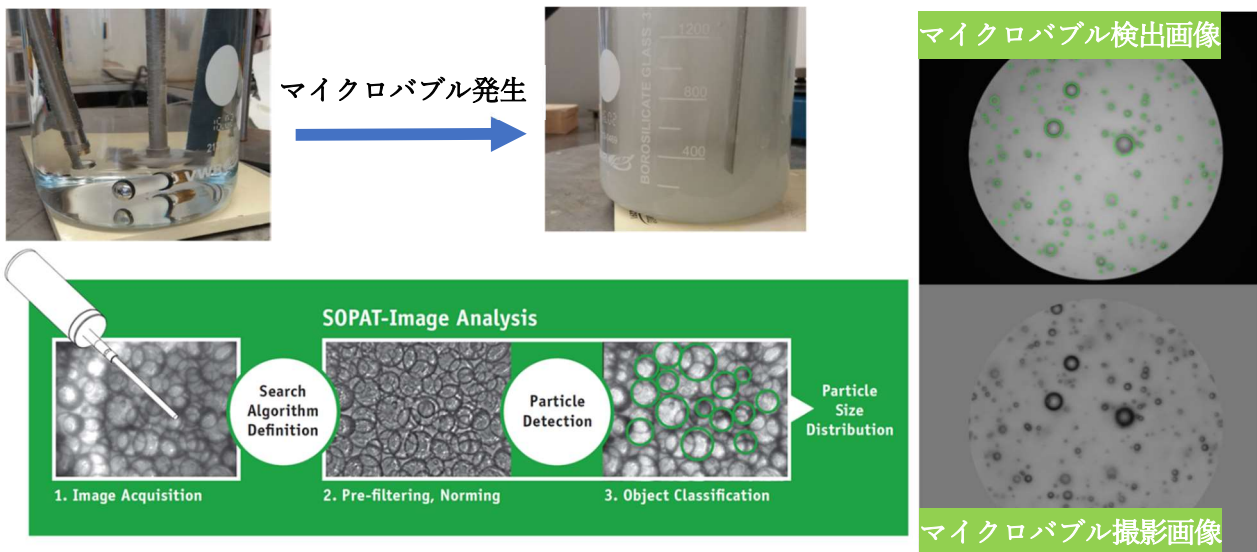
Application Note No.01 : Micro bubble

- 概要：マイクロバブルは発生して間もなく凝集、合一、そしてクリーミング現象が伴うとても不安定なものである。従来の方法では発生したマイクロバブルを、サンプリング或いはチューブを経由して測定部までもって行く途中、壁面付着や上記の現象が起こるために発生当時のマイクロバブルのサイズを計測するのが容易ではない。

SOPAT 社のプローブ式画像解析粒子径・形状分析装置はプローブタイプでマイクロバブルが発生する近傍に配置することができ、リアルタイムで計測ができるので、よりマイクロバブルの発生当時の情報を得ることが可能である。また、ソフトウェアにてバブルと異物を分けて粒子径分布にすることも可能である

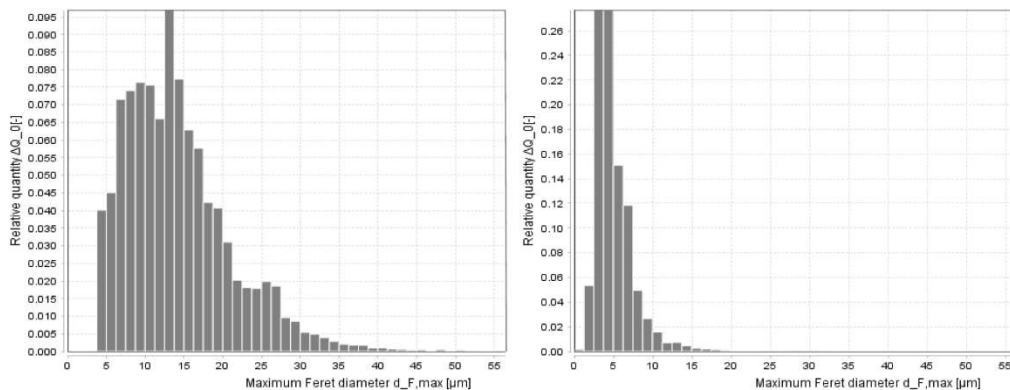
- 測定の流れ：

画像取得 → 代表的な粒子の定義 → すべての画像から粒子検出 → 粒子径分布 & 形状ファクター



- 測定結果：

400rpm left and 550rpm right



攪拌速度の違いによるマイクロバブルサイズや分布の違いを見ることができた。